

インスリンポンプ・持続グルコース測定器は磁気の影響を受ける可能性があります。検査前に必ず取り外しをお願いいたします。

インスリンポンプ

ミニメド620G
【日本メドトロニック(株)】



パラダイム722
【日本メドトロニック(株)】



TOP-8200
【(株)トップ】



持続グルコース測定器 (CGM/FGM)

iPro2
ミニメド 620G トランスミッタ
【日本メドトロニック(株)】



FreeStyleリブレセンサー
FreeStyleリブレProセンサー
【アボットジャパン(株)】



取り外しが必要なもの

療法	製品名	装着・携帯しているもの	X線	CT	MRI
CSII	TOP-8200	注入セット	必要なし	必要なし	必要
		ポンプ本体	必要	必要	必要
	ミニメド620G パラダイム722	注入セット	必要なし	必要なし	必要なし
		ポンプ本体	必要	必要	必要
CGM FGM	FreeStyleリブレセンサー FreeStyleリブレProセンサー	センサー	必要	必要	必要
	iPro2 ミニメド620Gトランスミッタ	センサー	必要	必要	必要
		トランスミッタ・レコーダー	必要	必要	必要

各製品の使用方法については各社コールセンターまでお問い合わせください。

日本メドトロニック株式会社 24時間サポートライン 0120-56-32-56 受付時間 24時間 365日
株式会社トップ 03-3882-7741 月曜～金曜 8:30～17:30 (祝日・会社休日を除く)

※お問い合わせは医療従事者の方に限らせていただきます。

アボットジャパン株式会社 お客様相談窓口：0120-37-8055 受付時間：【月曜～金曜】8:00-20:00、【祝祭日】8:00-17:00
お客様相談窓口メールアドレス（常時受付）：adc-cs.jp@abbott.com



公益社団法人

日本糖尿病協会

Japan Association for Diabetes Education and Care

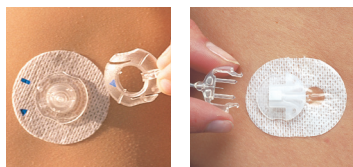
取り外し方法

インスリンポンプ

ミニメド620G/パラダイム722



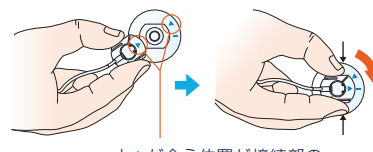
① 注入セットからチューブを取り外します。



② ポンプとチューブを体から取り外し、清潔な場所に保管します。



③ 検査後、再びチューブを取り付けます。

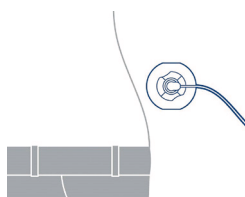


▼と▲が合う位置が接続部の着脱ポジションとなります。

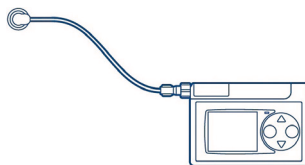
TOP-8200



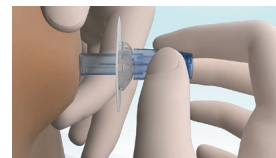
① 注入セットを体から外します。



② ポンプを体から取り外し、保管します。



③ 検査後、新しい注入セットを取り付けます。



持続グルコース測定器 (CGM/FGM)

iPro2/ミニメド620Gトランスミッタ

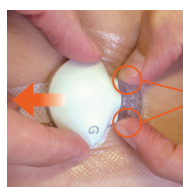


① 粘着タブをCGM本体から慎重に外します。



トランスミッタ

② センサーからCGM本体を取り外した後、センサーをそっとはがします。



1. センサーの両端のつまみを人差し指と親指でしっかりとつまみます。
2. CGM本体をセンサーから取り外します。
3. センサーをはがします。

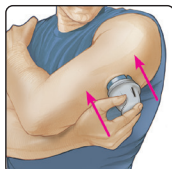
③ 検査後、新しいセンサーを装着し、CGM本体をセンサーに取り付けます。



FreeStyleリブレセンサー

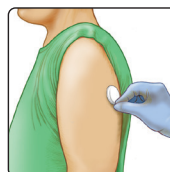


① センサーの粘着部の端を引き上げて、一回の動作で皮膚からゆっくりとはがします。



② 検査後、新しいセンサーを装着し、起動します。

FreeStyleリブレProセンサー



① センサーの粘着部の端を引き上げて、一回の動作で皮膚からゆっくりとはがします。

※センサーには装着期間中の測定データが保存されています。取り外したセンサーの取り扱いについては、かかりつけの医療機関にご相談ください。
※新しいセンサーの装着についてもかかりつけの医療機関にご相談ください。